

# 平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

## 1. 学校概要

学校名 岡山県立真庭高等学校

種 別  保育園・幼稚園  小学校  小中一貫<sup>※注1</sup>  
 中学校  中高一貫<sup>※注2</sup>  高等学校  
 教員養成大学  専修学校、各種学校  
 特別支援学校  
 その他（例：小中高一貫）

※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒719-3144

岡山県真庭市落合垂水 448-1

E-mail [maniwa@pref.okayama.jp](mailto:maniwa@pref.okayama.jp)

Website <http://www.maniwa.okayama-c.ed.jp/>

生徒数 男子 180 名 女子 302 名 合計 482 名

生徒の年齢 15 歳～20 歳

## 2. 報告期間

平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月

※報告書提出時点～平成 30 年 3 月末までの活動は、予定（見込み）として記載ください。

## 3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要（800 字程度＋活動内容を表す写真数枚）

※チェック事項 1-1、2-1 に対応

当校は、「Think Globally Act Locally－地球的な視野で考え、地域で行動する－」をミッションに掲げ、ESD を落合・久世ふたつの校地を結ぶ『真庭高校全体の具体的なミッション達成のための柱』として捉えている。

ESD の実践を通して生徒に身に付けさせたい力（目標）は以下の 4 点。

- (1) 能動的な地域参画・郷土愛の育成
- (2) 社会の重要な一員としての自覚の向上
- (3) 幅広い問題解決力の育成
- (4) 取組を契機とした学習意欲の向上

具体的には、「防災」と「持続可能な生産と消費」ならびに「総合的な学習の時間の各学年テーマ」を柱に、①地域防災に係わる活動、②地域農業交流・連携に係わる教育、③地域自然資源活用に係わる学習を行った。

### ①地域防災に係わる活動（落合校地）

「こちら高校市民課防災係～今、高校生にできること」（以下「こち防」）は、高校生のパワーや存在そのものに注目し、「防災」というキーワードで企画されたものである。

- こち防バス研修（6月）：防災教育の先進校である兵庫県立舞子高校環境防災課の生徒たちとワークショップを通じた交流，人と防災未来センターの見学。
- こち防地域防災校内リーダー研修会（8月）：搬送訓練・炊き出し体験。
- 地域合同防災訓練（11月）：落合小学校・真庭市役所落合振興局・地域住民・消防署など地域と連携した取組であり，全校生徒が参加・体験・学習する。
- ひとつなぎフォーラム（11月）：四者（地域住民・高校生・教員・保護者）が集まり，年間の活動を報告するとともに，改善点について意見を交換する。

②地域農業交流・連携に係わる教育（久世校地）

- 公共機関へのプランター寄贈・花壇植栽ボランティア
- 幼稚園・中学生との植栽交流・農業体験交流
- ふれあい市：清酒販売
- 高校生カフェ試食会

③地域自然資源活用に係わる学習（落合校地）

- 総合的な学習の時間の各学年テーマに沿って，地域自然資源活用についてグループ別探究活動に取り組む。
- 1年生テーマ：しめ山プロジェクト（しめ山をフィールドに探究活動）
- 2年生テーマ：地域自然資源×自分の進路



①地域合同防災訓練搬送班



②幼稚園との植栽交流



③1年生しめ山登山



③2年生紙漉櫛西和紙工房訪問

## (2) 活動の詳細

### ① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

#### ア. 活動分野 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input checked="" type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input checked="" type="checkbox"/> 3. 防災	<input checked="" type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input checked="" type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input checked="" type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input checked="" type="checkbox"/> 10. 食育	<input checked="" type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他( )		

#### イ. 活動を通して育みたい資質や能力 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入 )	

#### ウ. 活動時間 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input checked="" type="checkbox"/> 5. その他(自由記述 学校行事として)	

#### エ. 使用した教材 (書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名)

<input checked="" type="checkbox"/> 『課題研究メソッド』岡本尚也著 (啓林館)
<input checked="" type="checkbox"/> ウェブサイト: 『シンキングツール～考えることを教えたい』黒上晴夫 <a href="http://www.ks-lab.net/haruo/thinking_tool/short.pdf#search=%27%E3%82%B7%E3%83%B3%E3%82%AD%E3%83%B3%E3%82%B0%E3%83%84%E3%83%BC%E3%83%AB%27">http://www.ks-lab.net/haruo/thinking_tool/short.pdf#search=%27%E3%82%B7%E3%83%B3%E3%82%AD%E3%83%B3%E3%82%B0%E3%83%84%E3%83%BC%E3%83%AB%27</a>
<input checked="" type="checkbox"/> パンフレット: 『真庭市防災マップ』

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

■落合校地（普通科・看護科）では、総合的な学習の時間にユネスコスクールとしての活動に取り組んでいる。

普通科：1年時・2年時・3年時と3年間に渡って毎週1時間（年間39時間×3年間）

看護科：2年時のみ1年間に渡って毎週1時間

■久世校地（生物生産科・食品科学科）では、専門科目の時間にユネスコスクールとしての活動に取り組んでいる。

生物生産科：

【農業技術類型】野菜類の生産・販売，家畜の飼育管理など。

【草花環境類型】草花の栽培・活用・販売，花による地域交流など

食品科学科：安全・安心な食品の製造や貯蔵，販売などを体験的に学習。食の大切さや食品業界の役割を理解し，地産地消の推進について学習。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

（1）落合校地・久世校地それぞれにユネスコスクール担当者を決め，分掌表の中で明記している。落合校地ではさらに各学年2名のユネスコスクール担当者を明記し，組織的かつ継続的に取り組める体制や環境を整備している。

（2）年度当初の両校地合同の職員会議で，ユネスコスクール担当者より，当校の活動や目的などについて説明を行っている。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

■学校自己評価アンケート（12月）：生徒・教職員・保護者に実施するアンケートで30問程度の質問の中にユネスコスクールとしての活動を評価する項目を入れている。「ユネスコスクール加盟校として，様々な共一区活動によりESDを実践している。」肯定的評価（A+B）

生徒 H27-57%，H28-61%，H29-85%，教職員 H27-87.1%，H28-80.5%，H29-82.1%

保護者 H27-72.1%，H28-68.6%，H29-80.3%

課題：自分たちの活動とユネスコスクールとしての活動という結びつきが理解できていないレベルで，各方面への周知活動が必要である。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

■成果発表会：年一回2月上旬に成果発表会の場を設け、総合的な学習の時間の取組について発信している。県内外から50名を超える参観者が訪れている。  
■総合的な学習の時間の取組については、成果まとめ冊子を作成し、地域の小中学校などにも配布している。  
■まとめ冊子のデータをpdfにして学校ホームページ上で公開している。  
□以上の発信により、成果発表会への参観者数が年々増加している。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など)(200字程度) ※チェック事項 2-3 に対応

真庭市、まにわいきいきテレビ、垂水向津矢住民会を中心としたしめ山プロジェクト、地域おこし協力隊、岡山大学地域総合研究センター、岡山県立大学地域連携推進センター、山陽学園大学、真庭森林組合、美作県民局農林水産事業部、真庭地区木材組合、JAまにわ、久世商店街、農業改良普及センター、蒜山ハービル、真庭地域農業研究会、久世駅、真庭警察署など。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度) ※チェック事項 2-4 に対応

■岡山県ユネスコスクール高等学校ネットワーク実践交流会(11月)  
龍谷・矢掛・一宮・学芸館・和気閑谷・ノートルダム清心女子・美作・林野・真庭・おかやま山陽の県内10校とブルガリア高校生4名による交流会。  
2020東京オリンピックに関わる岡山市とブルガリアのつながりにより今後も継続予定。2017年度は県内ユネスコスクール10校から各1名の高校生がブルガリアを訪れる予定である。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）  
※チェック事項 2-5 に対応

■生徒は、地域の課題に気づき、課題解決に主体的に取り組むことができるようになってきている。  
■教科の学習だけでなく、21世紀に求められる力として、論理的思考力・協働性・ねばり強さが養われてきている。

(3) 平成30年度の活動計画（200～400字程度）

①地域防災に係わる活動（落合校地）

- こち防バス研修（6月）：防災教育の先進校である兵庫県立舞子高校環境防災課の生徒たちとワークショップを通じた交流，人と防災未来センターの見学。
- こち防地域防災校内リーダー研修会（8月）：搬送訓練・炊き出し体験。
- 地域合同防災訓練（11月）：落合小学校・真庭市役所落合振興局・地域住民・消防署など地域と連携した取組であり，全校生徒が参加・体験・学習する。
- ひとつなぎフォーラム（11月）：四者（地域住民・高校生・教員・保護者）が集まり，年間の活動を報告するとともに，改善点について意見を交換する。

②地域農業交流・連携に係わる教育（久世校地）

- 公共機関へのプランター寄贈・花壇植栽ボランティア
- 幼稚園・中学生との植栽交流・農業体験交流
- ふれあい市：清酒販売
- 高校生カフェ試食会

③地域自然資源活用に係わる学習（落合校地）

- 総合的な学習の時間の各学年テーマに沿って，地域自然資源活用についてグループ別探究活動に取り組む。  
（各学年テーマは未定）